

S/MIME証明書の発行・更新方法について知りたい

問題

2023/8/28から主体者DNが変更となるS/MIME証明書について、既存のCN以外が含まれる証明書を更新するときは、更新、新規どちらを行うのか知りたい。

解決方法

1.更新発行申請

既存の証明書の申請時のTSVデータが次の点にすべて当てはまる場合は、電子証明書自動発行支援システムにて、「更新」を選択し発行してください。申請時のTSVデータについては、下記「既存の証明書の申請時のTSVデータの確認方法」をご確認ください。

- 1-1. 主体者DNのCNがメールアドレス
- 1-2. 発行したい証明書と主体者DNが一致する
- 1-3. CNのメールアドレスは利用者メールアドレスと一致する

2.新規発行申請

既存の証明書が、上記、1.1～1.3の一つでも当てはまらない場合は、下記、「TSVデータの作成方法」a.b.の要件に合わせてTSVを作成し、電子証明書自動発行支援システムにて、「新規」を選択し発行してください。

既存の証明書の申請時のTSVデータの確認方法

- 電子証明書自動発行支援システムより[クライアント証明書情報取得手順](#)で一覧をダウンロードしてください。
- ダウンロードしたクライアント明書情報一覧から発行希望のCNを検索し、主体者DNと利用者メールアドレスを確認してください。ダウンロードデータの4列目が主体者DN、15列目は利用者メールアドレスです。詳しくは、[利用管理者情報](#)、[TSVファイル形式](#)をご確認ください。

TSVデータの作成方法

- a. 申請時作成するTSVの主体者DNは、2023年8月28日以降も、CN,OU,O,L,ST,Cを入力してください。
- b. 2023年8月28日以降、CNは利用者メールアドレス（申請用TSVデータ15列目）と一致する[メールアドレス](#)を入力してください。

（例）
CN=[niitest@test.ac.jp](#)
,OU=XXXXXX（学生番号等）
,OU=Cyber Science Infrastructure Development Department
,O=National Institute of Informatics
,L=Chiyoda-ku
,ST=Tokyo
,C=JP

※2023年8月28日以降も、申請時作成するTSVの主体者DNと、電子証明書発行支援システムの証明書一覧では、主体者DNにCN以外も含まれますが、発行される証明書にはCN以外は含まれなくなります（発行時にCN以外は自動削除処理します）。
※2023年8月27日以前に発行したS/MIME証明書を、個人認証用証明書として発行し直す場合、同じ主体者DNは利用できないため、OUを追加するなど、主体者DNを区別して発行を行ってください。